



## 学校事務のお仕事



学校を縁の下で支えてくれている教職員の一人が、事務の今村先生です。その仕事は、我々の給与・出張旅費に関する手続きや、学校予算や補助金の執行、子供たちの給食費・教材費の集金の手続きなど、多岐にわたります。

特に学校予算・補助金の執行に関しては、限られた金額で何の教材備品・消耗品を優先してそろえるべきか、管理職や教員と一緒に悩みながら業務を行ってくれています。例えば、学校としてICTに力を入れるときは情報教育への対応が必要となります。今年度なら道徳教育への予算も検討事項に入っています。そのための準備として、どんな教材や消耗品を準備するか、相談しながら購入を検討していきます。なかなか高価な教材もありますが、管理職や教員とも相談をして、購入を決定していくのです。それ以外にも、学校へやってくる業者や保護者・電話や来客の対応、備品のチェックなど、業務は多忙を極めます。そこで、事務室にはその仕事を補助する江坂先生もいます。

先週末のことでした。校庭の桜の木の枝に、裂け目ができていました。すると今村先生がすぐに、教育委員会に連絡し、剪定を行うよう依頼してくれました。

このように考えると、学校を陰で支えてくれる一人一人の職員のおかげで、学校は子供たちが安心して生活できる空間となっているのです。

## ♡ひこうきぐも✧

私は、大学を卒業して、2年間バックパッカーとして、海外を放浪していました。なぜ、その道を選んだのかというと、大学時代は、学費や生活費を自ら賄うために、アルバイトをいくつも掛け持っていました。その大学の4年間を終えようとしていた時のことです。バイト先の居酒屋の店長が、若い頃75カ国も旅をされていて、その土産話を酒の肴に、よく一緒に飲んでいましたので、海外への憧れが強くなっていきました。また、学童期・青年期にはたくさんのコンプレックスがあり、「こんな自分が人前に出て教えることができるのか。」「こんな自分でいいのか。」など不安もありました。すると店長はこう言いました。「先生になりたいのなら、外国に行ってたくさんの人とふれあって来い。価値観が変わるぞ!」この一押しがあり、私自身のバックパッカーとしての道を選択することにしました。その旅の様子を、メモとして残していますので、今後、不定期に学校便りに掲載していきます。よろしくお願いします。